

福知山市大江町二俣一の特別養護老人ホーム「五十鈴荘」(上垣智彦施設長)で11日、節目の年齢を迎えた入所者たちが、着物姿で写真撮影を楽しんだ。敬老の日に合わせて取り組み。入所者たちは自分で選んだ着物をスタッフに着付けてもらい、撮影時には、はにかみながらも笑顔を見せていた。

# 敬老の日の記念撮影好評

スタッフが協力して「若いときの気分になる」



## 節目の年着物姿でパチリ 大江町 五十鈴荘の入所者

季節感も取り入れた本格的な撮影を楽しんだ

五十鈴荘は要介護3以上の高齢者ら80人が入居して生活している。同施設の介護福祉士、塩見詩織さんが趣味で写真撮影を始め、利用者の着物姿の撮影を、4年前に初めて実施。入所者から好評で、着付けが得意な作業療法士の岡本三千代さんと協力し、毎年取り組むようになった。着物を着る機会がなくなってきた人たちが、昔を思い出して楽しみ、元気になれる活動として定着している。傘寿、米寿、卒寿、白寿と百寿以上の人が対象だが、希望があれば他の

今年9、11両日に撮影会を開き、36人が参加した。11日には、17人が会場の喫茶室を順番に訪れ、岡本さんと着物の色や帯などを相談。着付けをしてから、塩見さんが撮影した。車いすから起きられない人や表情を作ることが難しい人もいて、進行は大変だが、岡本さんと塩見さんは「着物選びや写真を撮るときは、みなさん生き生きとされます。普段は表情が硬い人も、撮るときにはいい顔になってくれるので、そうした姿を見ているとやがて「若緑色の着物姿で参

年齢の人も撮影し、男性はスーツ姿でも写している。今年9、11両日に撮影会を開き、36人が参加した。11日には、17人が会場の喫茶室を順番に訪れ、岡本さんと着物の色や帯などを相談。着付けをしてから、塩見さんが撮影した。車いすから起きられない人や表情を作ることが難しい人もいて、進行は大変だが、岡本さんと塩見さんは「着物選びや写真を撮るときは、みなさん生き生きとされます。普段は表情が硬い人も、撮るときにはいい顔になってくれるので、そうした姿を見ているとやがて「若緑色の着物姿で参

感染力が強いデルタ株が猛威を振るう新型コロナウイルスの「第5波」で、福知山市内でも感染拡大が続いている。8月1日から9月12日までの感染確認

新型コロナ  
10  
30  
福知山の  
感染者

# 両丹日日新聞

発行所  
(株)両丹日日新聞社  
〒620-0055  
福知山市篠尾新町一丁目99  
TEL 0773-22-2688  
FAX 0773-22-3232  
E-mail info@ryoutan.co.jp  
取材依頼は編集部 TEL.22-3324まで

i20 120年の感謝を込めて  
—これからも地域とともに—  
ご好評につき 期間延長決定!!  
—お取扱期間: 令和3年12月30日まで—  
120年の感謝を込めて、  
**特別金利**  
をご用意しております。  
創立120周年記念  
**未来設計**  
詳しくは、本支店窓口  
もしくは、こちらから  
地域元氣宣言の  
京都北都信用金庫

大きな事件、出来事は  
ネットで速報  
**RT Web**  
https://www.ryoutan.co.jp

購読のお申し込み・  
配達のお問い合わせ